



議会だより

〒299-2192 千葉県安房郡鋸南町下佐久間 3 4 5 8
議会事務局 TEL 0 4 7 0 - 5 5 - 4 8 0 4

第114号



佐久間ダムに咲く古代ハス

平成 27 年 6 月 定例会

は や わ か り	条例改正及び補正予算	2 ページ
	重度心身障害者医療費補助受給券提示で現物給付へ 請願及び意見書提出	3 ページ
	汚染土反対の請願採択 県へ意見書提出	
	一般質問	4 ~ 7 ページ
	笹生(正)・鈴木・渡邊・三国・青木・田久保の 6 議員 議会活動トピックス	8 ページ
	町内採石場 2 か所を視察	

6月議会

重度心身障害者医療費補助 受給券提示で現物給付へ

6月定例議会は、会期を19日から24日の6日間として開催した。議員発議案は4件、町長提出議案は条例の一部改正2件、平成27年度補正予算2件、鋸南開発の汚染土処理業の許可申請に対して千葉県が不許可処分とすることを求める意見書提出を求める請願1件等の合計12件。一般質問は、笹生(正)・鈴木・渡邊・三国・青木・田久保の6議員が質問席に立った。

重度心身障害者医療費支給条例の

改正を含む12議案を可決

条例改正の
主な内容

一般会計補正予算
主な内容

千葉県の実綱改正に伴い、重度心身障害者医療費支給条例の一部改正案を全員賛成で可決した。

これにより、平成27年8月から対象者は、重度心身障害者医療費助成受給券を提示することにより、一定の自己負担金を支払えば、助成分も含め医療費をその場で精算できるようになる。また、新たに重度心身障害者となった年齢が65歳以上である方は、助成対象外となる規定が追加された。

一般会計補正予算(第1号)及び介護保険特別会計補正予算(第1号)については全員賛成で可決した。

一般会計の主なものは、平成27年第4回臨時会で条例改正を行った議会議員の報酬5%削減による議員報酬等229万1千円の減額。教育費では、菱川師宣記念館の開館30周年記念特別事業として、特別展「浮世絵ジャポニズム 日本と西洋をつないだ浮世絵」の開催費用994万6千円が予

算化された。この費用のうち395万2千円は文化庁の文化芸術地域活性化事業「浮世絵のふるさと 鋸南町地域文化活性化事業」の補助金が決定している。また、入館料収入を450万円見込んでいる。

展示内容としては、浮世絵版画が影響を与えた、マネ、モネ、ルノアール等の印象派画家の作品や、日本の北斎、広重、歌麿の浮世絵版画の紹介を行う予定となる。

特別展開催期間は、平成28年1月9日から2月7日まで。

その他では、コミュニティ助成事業を活用した、中佐久間の塚原地区祭礼屋台修繕費240万円が予算化された。

会計名	補正額 (補正後総額)	主な内容
一般会計	2,678万2,000円 (40億3,120万円)	・ 議員報酬等の減 ・ 一般コミュニティ助成事業助成金 ・ 菱川師宣記念館特別展経費 ・ 鋸南町のおいしい米商標登録費用
介護保険 特別会計	17万2000円 (11億6,885万1,000円)	・ 介護システム改修費

汚染土壌反対の請願採択

県へ意見書提出

鋸南開発株式会社が、下佐久間地区に計画している汚染土壌処理施設について汚染土壌処理業の許可申請を千葉県に提出したことから、「鋸南開発(株)の汚染土壌処理業の許可申請に対して千葉県が不許可処分とすることを求める意見書提出を求める請願」が「鋸南町の環境と子どもを守る会」より議会に提出された。

請願の審査については産業常任委員会に付託すると共に決定し、6月22日に産業常任委員会を開催した。委員会での審査結果は、賛成多数で「採択すべきもの」となった。

最終日に渡邊信廣産業常任委員長から審査報告が行われた後、賛成多数で請願を採択することに決定した。

請願の採択に伴って「千葉県が鋸南開発(株)に対し汚染土壌処理業許可をしないことを求める意見書(案)」が議員発議案として追加提出された。

3名による討論の後、採決となり賛成7名、反対3名の賛成多数(欠席1名)で可決した。

これにより、鋸南町議会は6月26日に千葉県知事へ意見書の提出を行った。

☆賛成討論

議会では平成25年3月にも、計画反対の請願を採択しており、現在も多くの町民が反対をしている。

笹生久男議員

汚染土壌の受け入れは、町のダメージであり、健康被害が心配である。

緒方猛議員

☆反対討論

耐用年数と寿命は異なる。反対理由の解らない人も多く、県の心証を害するだけだ。

笹生正己議員

教育予算に関する意見書採択

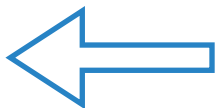
「子どもたちの豊かな育ちと学びを支援する教育関係団体連絡会」からの陳情を受け、「国における平成28年度教育予算拡充に関する意見書」及び「義務教育費国庫負担制度の堅持に関する意見書(案)」を、緒方猛総務常任委員長が提出者、他4名の委員が賛成者として提出し、全員賛成で可決、6月24日に、関係4大臣へ意見書を送付した。

教育予算拡充に関する意見書の主な内容は、少人数学級の実現に関することや就学援助に関わる予算の拡充など7項目にわたり、国財政が厳しい中、必要な教育予算を確保するよう要望するもの。

重度心身障害者(児)医療給付制度が変わります

平成27年8月から医療機関の窓口で一定の自己負担金を支払うと、その場で清算されます。

医療機関



重度心身障害者(児)

町保健福祉課または税務住民課であらかじめ受給券の交付申請を行ってください。

受診の際、受給権と保険証を提示すれば、一定の自己負担額(※)を支払うだけで差額を県と町が負担します。

①重度心身障害者(児)医療費助成受給券と保険証を提示して受診

※原則、通院1回、入院1日につき負担金は300円。住民税所得割非課税世帯は無料。

ここが聞きたい いっぱん質問

改めて

町長の所信を伺う



笹生正己議員

質問 4年間の所信を伺う。

町長 ①引き続き、財政健全化に取り組みます。②「新道の駅」が、地域活性化の起爆剤となるよう努めます。③「住民が主人公」を信念に、職員の意識改革や、組織体制を強化します。④より一層、景観整備に官民協働の取り組みを推進します。
質問 県道川沿いの桜の枝が道路にはみ出している。大型車はセンターラインを越え、危険と感じる方々がいるが。

町長 町職員で対応し、今

後も計画的に巡回し、対応します。

質問 鋸南中学校の駐車場の南側に鉄鋼スラグの塊等が混入し、明らかな産業廃棄物が積んであるが、何か。

教育課長 借りていた土地を畑に戻して返す際に出た

発生土です。そのような異物は混入していませんので、そこに置きましたが、昨日確認したところコンクリートの様なものを多数確認しました。

質問 この産廃は、4月中旬頃と連休明けでは鉄鋼スラグの割合が多くなっていたのはなぜか。

教育課長 確認したところ町での持ち込みはないので、できる限りの調査と、適切な処置を行います。

質問 その地域は「ガラスハウスの汚れが随分と違う」と地元の方が言うように、

特に風が強い場所だ。町は地元の説明もなく発生土を放置するのか。一般の事業者なら始末書では済まない。町は随分自分に甘いと思うが、どうか。

町長 確認し、適正に処置したいと思います。

要望 業者にコンプライアンスを求めるなら、それ以上の倫理観を町に望む。

自主防災組織を早急に

地域活性化の新たな仕組みを



鈴木辰也議員

質問 今年の町の避難訓練で、関係機関の協力が得ら

れば、避難行動要支援者の方の避難訓練も加えたいとのことだが、積極的をお願いをし、訓練を行ってほしい。町の考えは。

副町長 町内全域で行うか、ある一つの区域をモデル的に実施するのか、色々な方



剪定後の頼朝桜（保田川沿い）

法があるので、工夫して取り組むよう検討します。

質問 自主防災の組織づくりにについては、各区にお願いし、理解をいただき組織してもらいたいと考えるが、いかがか。

町長 何年か前に、すべての区の役員さんに自主防災組織について話をしましたが、組織の立ち上げは、各区の皆さんに説明し、お願いしたいと思います。

質問 自転車の危険運転に関する改正道路交通法の施行にあたって、町はどのような対応をしたのか。

総務企画課長 県より配布のあったチラシを窓口に設置しました。鋸南小学校へは児童向けのチラシを配布し、鋸南中学校へは7月1日に警察と現場指導を行います。

質問 これからのまちづくり、地域活性化の施策を町だけでなく、農業・漁業・商工業・観光業に関わって

いる方々、さらに言うと、鋸南町民が町と一体になって考えていく仕組みや、話し合い、考えられる場を設ける必要があると考えるが、町長の考えは。

町長 町民の皆さんと町が

一体となって考える仕組みについては、地場産業の振興、住環境の整備、地域や産業間の連携による新たな活性化の取り組みなどを推進する観点から、その必要を強く認識しています。



平成26年度防災訓練の様子

ついて、民間グループの起用は行うのか。

町長 色々な方の意見は聞くべきだと思いますが、まちづくりは、住んでいる方が主役であり、住んでいる方のためのまちづくりと捉えています。

質問 町民全体の意見集約をアンケート等で行うとのことだが、具体的計画策定の中でも特に深刻な定住化対策には、不動産業者や移住者・町内の成功者・若者などの意見が重要と考える。今後の5カ年間を評価しながら計画を実施するのであれば、なおさら民間の声は重要だと思う。再度民間グループの組織化について伺う。

総務企画課長 組織化は難しいと思いますが、支援業者を雇っているので、必要に応じて意見を聞く体制を取ります。

質問 素案の作成期限は12月中とのことだが、町民に

広く周知をするためにもパブリックコメントは重要だと思いがいかがか。

総務企画課長 パブリックコメントの実施は12月を予定しています。

質問 景観整備や自律のための施策は国の施策と合致しているとのことだが、佐久間ダム公園の観光客は増えてきているものの整備は未完成的である。本計画により活性化に向けた取り組みを行うのか。

町長 公園化事業が対象になるかわかりませんが、財政面も考慮し検討します。

地方創生に向け民間グループ起用へ 佐久間ダム公園の整備を



渡邊 信廣 議員

質問 国は少子高齢化と過疎化対策として地方創生法を制定した。当町においても、本事業の交付金を最大限活用し、深刻な人口減少対策や活性化を図る必要があるが、総合戦略の策定に



佐久間ダム公園

防犯灯をLED化に

公営住宅等の活用で人口増を



三国 幸次 議員

質問 「新たな財政負担を必要としない省エネルギー促進策」として多くの自治

体で、ESCO事業による防犯灯などのLED化が行われている。防犯灯のLED化を実施に向けて検討してほしいがどうか。

町長 君津市では、昨年度この事業を行って、自治会が行っていた維持管理を市に移管し、自治会が管理する君津市内全域の防犯灯をLED化しました。これにより、経費負担が軽減され、防犯灯のランプ寿命は、7.5

倍、消費電力・年間電気料・二酸化炭素年間排出量についても半分近く減少する成果がありました。LED化は、多くのメリットがあることから、先進事例を参考に補助制度の活用や、財政面からの比較・検証を行い、検討します。

質問 鋸南町の公営住宅や民間の空き家を再生・リニューアルし、若者を呼び込むために活用できないか検討する必要があると思うがどうか。

町長 町営住宅は、若者世代や高齢者など多様なニーズを取り入れた複数のタイプを整備することで、定住促進に繋がる多世代交流型の住宅施設に活用を図ることが考えられ、また、地域

住民にとっては津波避難タワーとしての活用も図ることが想定できます。空き家の活用については、アトリエやギャラリー、店舗などの他、様々な活用方法が考えられます。現在は、町民全体の安全にかかわる事業を多く実施しているため、財政的にも厳しい状況です。今後、協議していきます。

まちづくりの基本理念を大切に

汚染土壌は「里愛」につながるのか



青木 悦子 議員

質問 里海・里山・里愛の三つ星のふる里を創っていくと宣言しているが、町当



町内に設置されている防犯灯

局が考える三つ星のふる里に対する基本理念とは。

町長 それぞれに掲げた重点プロジェクトの取り組みは、構想5年目を向かえ、着実に施策を遂行し、一定の成果を上げています。東京心から1時間の距離で結ばれ、自

然豊かな景観は、これからも町の宝である里山・里海・里愛の恵みを活かし、まちづくりを継続していくことが重要であると考えています。

質問 鋸南開発(株)の汚染土問題が浮上した当初は、住民のニーズをどう判断して対応したのか。

町長 汚染土壌処理施設の設置計画について県から町へ意見照会があったため、各委員会等からの意見を集約し意見書を県に提出しました。また、その時点では各地区の説明会は開催されていないかったため、住民の方々の賛否を把握できる状況ではありませんでした。

質問 汚染土壌立反対という町民の声をどう捉えて三つの基本理念にどのような形をとって邁進するのか。
町長 今後とも里山・里海を守り、公害や災害がなく、みんなが里愛で結びつくふる里鋸南を守ることをまち

づくりの基本理念とします。県に対しては、この度の選挙結果を重く受け止め、県民の意見として尊重し、汚染土処理業の許可又は不許可の判断は、町民の理解が得られるように慎重に対応していただけるよう、千葉県県知事宛の要望書を持参したところですが、今後は状況を見ながら対応します。



鱧ヶ浦海岸から富士を見る

鋸南創生にかける 町長の意気込みは



田久保 浩通 議員

質問 町が抱える課題について、この4年間でどのよ

うに取り組んでいくのか。
町長 笹生議員の答弁と重複しますので、5期目の町政運営に向け、4つの大きな方針を示します。①財政の健全化に向け、引き続き努力します。②都市交流施設を地方創生の拠点と位置

付け、鋸南創生実現に向け、挑戦します。③町民の皆さんを支援する仕組みを強化します。④活力ある元気な鋸南町の実現に取り組み、東京都心に近い有利性を活かし、地場産業が積極的に連携を図り、都市との交流を促進し、官民協働の取り組みを推進し、快適な自然空間の提供をめざします。

かけ、町への説明はあったのか。
地域振興課長 申請の関係については、町も内容は承知していません。しかし、6月9日に県へ伺った際、「申請事業者に対し、申請内容について町に説明するよう、連絡をします」とのことでしたので、事業者から連絡が入りましたら、対応を協議します。



耕作放棄された農地

質問 町長は活動資料中の対策課題の一つに「汚染土埋立て反対を含めた自然環境保護」をうたっているが、私も汚染土埋立てには断固反対している。鋸南開発(株)が進めている事業はどこまで進んでいるのか。
地域振興課長 5月22日付で千葉県に対して、汚染土壌処理業許可申請が提出されました。6月18日の時点では、提出された書類の審査中とのことですが、

質問 事業から未だに発生元・搬入経路の説明がないが、住民の不安は増すばかり。町への説明はあったのか。
地域振興課長 申請の関係については、町も内容は承知していません。しかし、6月9日に県へ伺った際、「申請事業者に対し、申請内容について町に説明するよう、連絡をします」とのことでしたので、事業者から連絡が入りましたら、対応を協議します。

質問 今後ますます増えるであろう耕作放棄地の問題は深刻だが、他市町村での具体的な取り組みは。
地域振興課長 耕作放棄地に景観形成物の栽培や、梅を植樹し、農村観光や町活性化の一助としての資源の回復を促す取り組みといった例があります。また、非農業的な活用として、植林による林地への転用・里山整備活動といったものが考えられます。

知っていますか

本会議はもちろんのこと、会期中に開かれている委員会も傍聴できます。定例議会の傍聴定員は、本会議場で28名。申し出があった場合には、議長の許可により最大40名傍聴ができます。また、委員会では概ね10名の傍聴が可能です。6月に行われた定例議会の傍聴者数は、19日(初日)が28人。24日(最終日)は、22人の合計50人でした。

議会活動トピックス

県に意見書を手渡す



6月26日、千葉県環境生活部水質保全課長に、知事あての意見書を手渡した。

町内採石場2か所を視察



6月5日、議員全員協議会后に保田地区にある2か所の採石場を視察。

伊豆の国市から視察に来町



6月30日、静岡県伊豆の国市議会議員の有志4名の方々が頼朝上陸地などの視察に来町。

広報委員 研修会に参加



7月6日、千葉市で開催された議会広報研修会へ広報特別委員会委員が参加し、議会だよりについて研修した。

議会の日誌

- 6月5日 議員全員協議会及び町内採石場視察
- 6月12日 議会運営委員会
- 6月19日～24日 平成27年第5回議会定例会

- 6月22日 産業常任委員会
- 6月24日 議員総会
- 7月6日 市町村議会広報研究会
- 7月10日 議会広報特別委員会
- 8月3日 県町村議会議員研修会

編集後記

6月の定例会も終わり、ほっとしたのもつかの間、「議会だより」の編集に向け猛暑の中、大奮闘。何とか期日に間に合わせる事ができました。

去る7月6日、市町村議会広報研究会に参加してきました。議会広報サポーター芳野政明氏より丁寧な説明が約3時間、休憩を挟んで熱く語られました。特に印象に残ったのは、「議会改革は広報改革」・「住民との関係性を築くことが基本」との話が心に響きました。読者の立場に立った編集読みたくなる「議会だより」にこだわっていきます。議会活動を「伝える」から「伝える」ことに心がけ、思いを新たに編集委員の皆さんと、精進を重ねてまいります。

田久保